PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

61-029232

(43) Date of publication of application: 10.02.1986

(51)Int.Cl.

H04L 9/00 H04L 23/00

(21)Application number: 59-149416

(71)Applicant: HITACHI LTD

(22)Date of filing:

20.07.1984

(72)Inventor: SHIMOZAKA TOSHIAKI

OKADA JUN

KUNIMASA KOICHI

(54) DATA ENCIPHERMENT TRANSMISSION SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To secure the safety of data and to improve the data transmission efficiency by compressing the transmission data by a compression table, enciphering the compression table to transmit it together with the data and decoding the enciphered compression table at the reception side to restore the compressed data.

CONSTITUTION: An analyzer 1 analyzes the character emerging frequency of the transmission data, and a compression table device 2 produces and stores a compression table suited to the compression processing of data based on the result of analysis of the analyzer 1. This compression table is enciphered by an enciphering device 3 and sent to a circuit 6 through a circuit controller 5. While a compressing device 4 compressed the compression data via the compression table of the device 2 and sends it to the circuit 6 through the controller 5 after the enciphered compression table. At the reception side, a circuit controller 7 decodes the enciphered compression table in the reception data through a decoder 8 to obtain a compression table. This

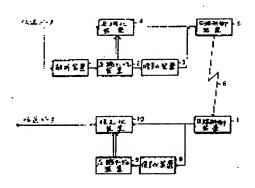


table is stored to a compression table device 9. Then the compressed data is restored to the original data by a restoring device 10 by means of the compression table sent from the device 9.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection

[Date of requesting appeal against examiner's

Searching PAJ
decision of rejection
[Date of extinction of right]

19日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-29232

@Int_Cl_4

識別記号

: 庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)2月10日

H 04 L 9/00 23/00 7240-5K 7240-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

図発明の名称

データ暗号化伝送方式

②特 願 昭59-149416

29出 願 昭59(1984)7月20日

@発 明 者 ⑦発 明

者

下 坂 岡

俊 明

秦野市堀山下1番地 株式会社日立製作所神奈川工場内 秦野市堀山下1番地 株式会社日立製作所神奈川工場内

砂発 明 者 国 正 純

秦野市堀山下1番地 株式会社日立製作所神奈川工場内

砂出 願 人

H

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

砂代 理 弁理士 高橋 明夫

外1名

8

朗

1. 発明の名称

データ暗号化伝送方式

2. 特許請求の範囲

(1) 送信側において、伝送データを圧縮テーブル を用い圧縮して伝送するとともに、その圧縮テー ブルを暗号化して伝送し、受信側において、暗号 化圧縮テーブルを復号化して元の圧縮テーブルを 得、その圧縮テーブルを用いて圧縮伝送データか ら伝送データを復元することを特徴とするデータ 暗号化伝送方式。

3. 発明の詳和な説明

〔発明の利用分野〕

本発明は、データ暗号化伝送方式に関する。

(発明の背景)

データ伝送の安全性を高めるたるに、種々のデ ータ暗号化伝送方式が考えられている。しかし従 来の方式は、伝送データを全て暗号化して伝送し、 受信側において暗号化伝送データを復号化するた め、暗号化および復号化の処理時間が長く、また

暗号化により伝送データ長が増加し、その結果、 データの伝送効率が悪いという欠点があった。

伝送データ長を短縮するために、暗号化伝送デ ータをデータ圧縮する方式もあるが、そのような 圧縮処理を行っても、暗号化しない場合に比べデ ータ伝送効率がかなり悪化する。

(発明の目的)

本発明の目的は、従来と同等のデータ伝送の安 全性を達成し、かつ従来よりも伝送効率を改善で きるデータ暗号化伝送方式を提供することにある。 (発明の概要)

本発明によれば、伝送データは暗号化すること なくそのままデータ圧縮して伝送し、一方、伝送 データの圧縮の用いる圧縮テーブルを暗号化して 伝送する。受信側においては、暗号化圧縮テープ ルを復号化して元の圧縮テーブルを得、その圧縮 テーブルを用いて圧縮伝送データから元の伝送デ ータを復元する。即ち、圧縮テーブルの秘密の鍵 として利用し、その圧縮テーブルを暗号化して伝 送することにより、伝送データ母および暗号化・

復号化処理時間の短縮を図ると同時に、伝送データ全体を暗号化すると同等のデータに安全性を達成するものである。

(発明の実施例)

第1図は本発明の一実施例を示すブロック図である。この図において、1~5は送信側の装置であり、7~10は受信側の装置である。6は回線である。

御装置 7 を通じて受信する。復号化装置 8 は、受信した暗号化圧縮テーブルを復号化し、伝送データの圧縮処理に用いられた圧縮テーブルを得、それを圧縮テーブル装置 9 に記憶させる。復元化装置 1 0 は、圧縮テーブル装置 9 に記憶されている圧縮テーブルを用い、受信された圧縮伝送データ

から圧縮前の伝送データを復元する。

受信側において、回線6を通じて伝送されてく

る暗号化圧縮テーブルと圧縮伝送データを回線制

じて回線6へ送出される.

4 図に例示するようなハフマンコードに対応するようなハフマンコードに対応するというないの圧縮テーブルが圧縮テーブルには、整置14に記憶されている。伝統テーブルには管理14に記憶されている来割当て状態の圧縮テーブルにより、圧縮テーブル変更装置13は圧症プルにより、圧縮テーブル変更装置13は圧症プルを圧縮テーブル記憶装置14に記憶させるとともに、暗号化装置3へ送る。

圧縮テーブルの作成に当っては、第4回の例示するように、文字の割当てを行い、「空」のの部分を各類度をに1~数額度が測定され、頻度度解析結果が固定を接近である。圧縮でするは、圧縮テーブルの頻度度を変変をによってりまられる頻度である。この変更がある。ことによって行

う。変更後の圧縮テーブルは圧縮テーブル記憶装 置14に記憶される。また圧縮テーブルの変更部 分は、暗号化装置3に送られ、暗号化され伝送される。

ここで、本実施例ではキャラクタ対応文字の例を示しているが、他の図形データや画面データ等のビット列の場合、伝送データ中のビット列を一定間隔(たとえば8ビット)毎に区切ることにより、同様に圧縮テーブルを作成することができる。

次に第3回を参照して、受信側の圧縮テーブル来 装置9についてさらに説明する。圧縮テーブル来 設定時は、復号化装置8で復号化された圧縮テーブル が、圧縮テーブルを変更数置15により復元化 用に格ででは、圧縮テーブルに移って圧縮では、低送では、圧縮テーブルのででである。 情報して来た場合、復号化送る。ので低 に対して圧縮では、低場ので圧縮を で変更ないて、変更ないででである。 に対して、変更ないででである。 に対している圧縮テーブルになる。 に記憶されている圧縮テーブルを変更する。

特開昭61-29232(3)

なお、上記実施例においては、伝送データを一 伝間隔毎に、つまり一定伝送文字数毎に解析し、 圧縮テーブルを変更しているが、伝送前に伝送データの全部または一部を予め解析し、その解析結 果に従って圧縮テーブルを作成し、以後その圧縮 テーブルを継続して使用するようにしてもよい。 この場合、伝送中においては圧縮テーブルが変更 されることはないから、圧縮テーブルの変更情報 を暗号化して送る必要はなくなる。

また、データ圧縮法は、上述のハフマン符号化 法に腹られるものではない。

〔発明の効果〕

以上詳細に説明したように、本発明のデータ暗 号化伝送方式は、送信側において、伝送データを 暗号化するのではなく、圧縮テーブルを暗号化し、 暗号化圧縮テーブルと圧縮伝送データとを伝送し、 受信側において暗号化圧縮テーブルを復号化し、 復号した圧縮テーブルを用いて圧縮伝送データを 元の伝送データに復元する方式であるから、伝送 データ全体を暗号化および復号化する従来方式に 比べ、暗号化および復号化処理の時間が大幅に短縮され、また伝送データ長も短縮されるため、データの安全性と伝送の効率化を同時に満足させることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す概略プロック図、第2図は送信側の解析装置および圧縮テーブル装置のブロック図、第3図は受信側の圧縮テーブル装置のブロック図、第4図はハフマンコードの例を示す図である。

1 … 解析装置、 2,9 … 圧縮テーブル装置、

3 … 暗号化装置、 4 … 圧縮化装置、

5,7…回線制御裝置、 6…回線、

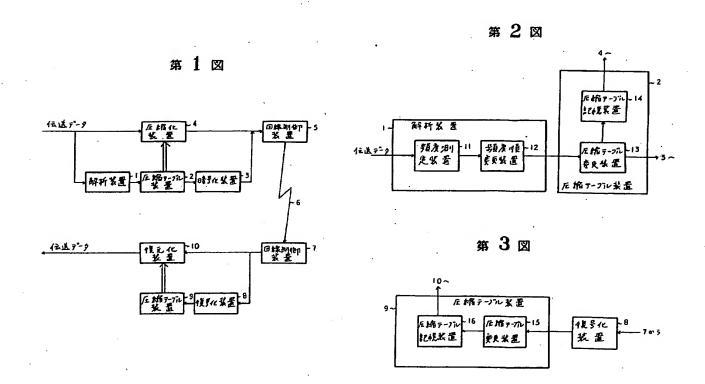
8 … 復号化装置、 10 … 復元化装置、

11… 頻度順測定装置、 12… 頻度順変更装置、 13,15… 圧縮テーブル変更装置、

14,16…圧縮テーブル記憶装置。

代理人弁理士 髙 橋 明 岩





第 4 図

符号長	出现顺序	ナタ	ハフマン・コード
4	-	. 9	0000
	2		0001
5	2	,	00100
	3	1:	00101
	空	-	00110
	5	- 5	1
6	4	る	010000
	5	17	010001
	3	5	
	垦	=	010101
	. 1	3	` 1
5	5	5	5
12	501	克	111101000001
	502	兂	111101000010
	503	ワ	111101000011
	3:	5	1
	2		11111111011
	3	- 5	1
5	5	5	5
'	1		